

“結愛” ~ゆい~

『職員紹介』

2月中旬より訪問リハビリ室に配属になりました理学療法士の萩原 沙依子と申します。出身は山梨県で、実家は桃農家をしています。残念なことに桃が苦手な食べられないのですが、寝言で言うほど餃子と辛い食べ物が大好きです！動けなさそうな体系をしていますが、小さい頃から身体を動かすことが好きでバレエ・水泳・バドミントンをしていました。自称動けるデブです！！
以前は入院患者様のリハビリに関わらせて頂いていました。配属から2ヶ月が経ちますが、利用者様1人1人のその方らしさを残しながら、生活動作を獲得する事の大切さを感じております。自宅環境の中で安全かつ地域に馴染んだ生活が送られるよう、利用者様の悩みに寄り添い、少しでもお役に立てれる様励んでいきます。今後とも宜しくお願い致します。



『通所リハビリテーション』

3月末から通所の行事のお花見ツアーを行う予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で中止となってしまいました。新型コロナウイルスが落ち着くまでは、通所の行事も中止することが続いてしまうかもしれませんが、ご利用様が楽しめる行事を考えていきたいと思っております。そんな中、天気の良い日が続いたので、通所の花壇・プランターに花の種を蒔きました。「どんな花が咲くのか、楽しみだね」とご利用者様同士で話をされていました。



『新型コロナウイルスについて』

4月7日に7都府県に対して緊急事態宣言が発令され、16日には全国にも発令されました。山梨県内でも新型コロナウイルスの感染が拡大しています。集団（クラスター）の感染を防ぐためにも、3つの「密」（密閉空間、密集場所、密接場面）の重なりを避けるようにしましょう。また、時間を決めて換気も行っていきましょう。

①換気の悪い
密閉空間



②多数が集まる
密集場所



③間近で会話や
発声をする
密接場面



新型コロナウイルスへの対策として、クラスター(集団)の発生を防止することが重要です。日頃の生活の中で3つの「密」が重ならないよう工夫しましょう。